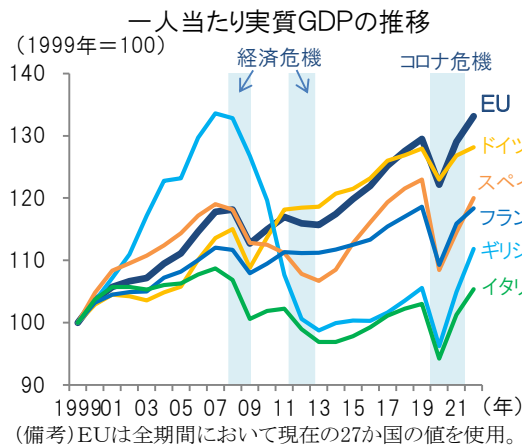


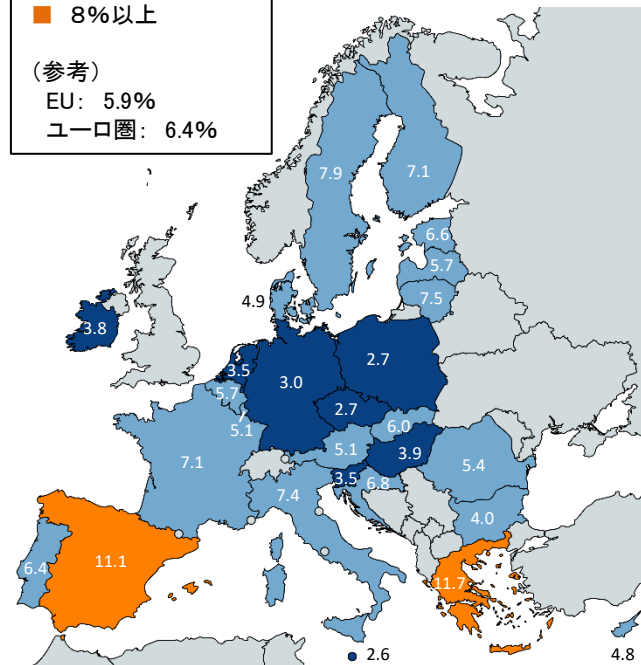
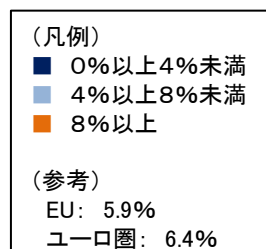
## EUにおける経済通貨同盟①

- EU加盟国の経済は、1999年のユーロ導入後、2000年代半ばまで堅調に推移したが、2008年以降の経済危機により財政悪化や不良債権等の問題が発生。2013年以降、EU経済全体としての安定性は高まっているものの、国ごとのばらつきは今も存在している。
- 2020年の新型コロナウイルス感染症による危機においては、各国は財政政策により経済の下支えを行ったため、一般政府債務残高は一時拡大したが、足下では縮小傾向にある。

## 《経済面》



## 失業率の分布

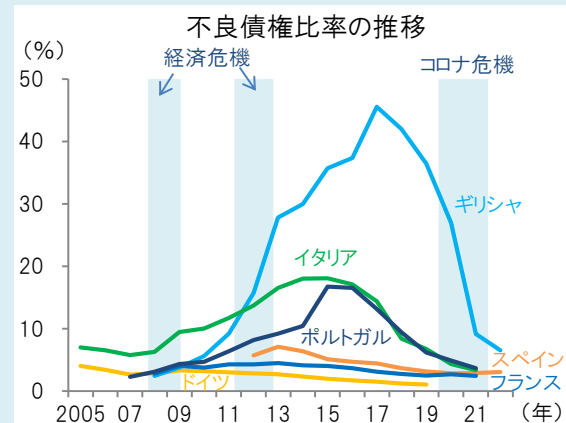
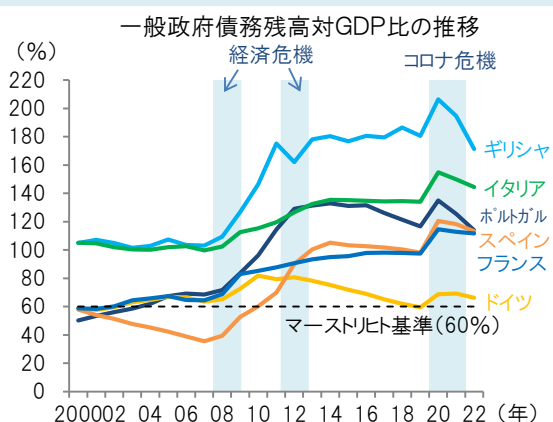


(備考) 2023年6月の値。

## 《金融面》



## 《財政面》



(注)ここでいう不良債権比率とは、各国・地域における債権総額に占める不良債権の割合。

# EUにおける経済通貨同盟②

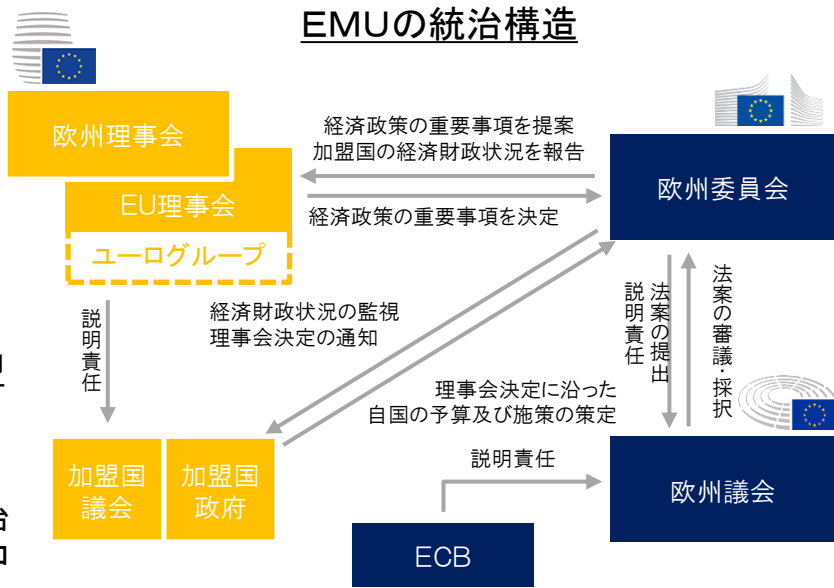
## 経済通貨同盟 (Economic and Monetary Union: EMU) とは

**沿革:** 域内単一市場を補完し、EU経済の成長と安定を図るため、マーストリヒト条約(1991年採択)において規定された仕組み

**役割:** ・加盟国間の経済・財政政策の協調、  
・単一通貨ユーロ及びユーロ圏の政策、  
・欧州中央銀行(ECB)による金融政策、など

**統治構造:** 欧州理事会、EU理事会(及びユーログループ※)、加盟国、欧州委員会、ECB、欧州議会のそれぞれが特定の役割を担う分権構造によって成り立つ

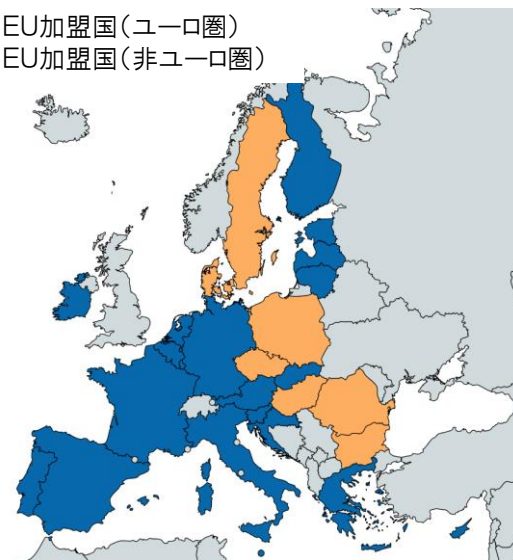
※ユーロ圏各国の財務相による非公式会合。ユーロに関する事項の政治的決定を行う。通常のEU理事会は半年ごとに議長国が代わるが、ユーログループは2年半を任期とする常任議長が選出される。現議長はアイルランド・ドノホー氏(2期目、任期は2023年1月～)。



(出典) 欧州委員会資料を基に作成

## EU及びユーロ圏の広がり

- EU加盟国(ユーロ圏)
- EU加盟国(非ユーロ圏)



(出典) 欧州委員会資料を基に作成

## ユーロについて

- [沿革] ・1991年 マーストリヒト条約において単一通貨ユーロの創設を規定  
 ・1999年 会計上の通貨として誕生(11か国が加盟、2001年にはギリシャが追加)  
 ・2002年 現金としてのユーロ流通開始  
 ・2007年以降 加盟国が随時拡大(現時点で20か国が加盟)
- [加盟国] ベルギー アイルランド イタリア オーストリア オランダ スペイン ドイツ フィンランド フランス ポルトガル ルクセンブルク (以上'99)  
 ※( )内は 加盟年次  
 ギリシャ('01) スロベニア('07) マルタ('08) キプロス('08) スロバキア('09)  
 エストニア('11) ラトビア('14) リトアニア('15) クロアチア('23)
- [加盟原則] ・EU加盟国は、原則として将来的にユーロ加盟が義務付けられており、定期的にその基準達成の審査が行われ、条件を満たせばユーロに加盟することとなる。  
 ・ただし、デンマークはオプトアウトによってユーロ不参加が認められている。